

厚生労働省 三重労働局発表
平成24年5月24日(木)

担 当	厚生労働省三重労働局職業安定部
	職業安定部長 水野 忠幸
	求職者支援室長 塩澤 尚樹
	求職者支援係長 池田 孝司
	電話 059-261-2941

**三重労働局における新規学校卒業予定者の厳しい就職環境を踏まえた就職支援について
～「卒業前最後の集中支援 2012」により514人の就職が決定～**

新規学校卒業予定者の厳しい就職環境（※1）を踏まえ、三重労働局では、管内のハローワーク及びみえ新卒応援ハローワークを中心に、将来の日本を担う新卒者が安定した仕事に就けるよう支援をしています（別紙1参照）。

また、平成24年1月17日からは、厚生労働省、文部科学省、経済産業省が連携した「卒業前最後の集中支援 2012」に取り組むこととし、三重労働局では別紙2のとおり大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底等により、1月～3月末で未内定者514人（昨年同期は460人）が就職決定するなど着実に成果をあげました。

※参考 同時期における既卒者を含む就職決定者数（平成23年度720人、平成22年度589人）

卒業後も就職活動を続ける未就職卒業者に対しても、引き続き6月末までを目途に、ジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1日でも早い就職の実現に向け、全力を尽くします。

※1 新規学校卒業予定者の就職環境

全国の新規大学卒業者の就職内定率（平成24年4月1日現在）は93.6%（前年同期差2.6ポイント増）、新規高校卒業者の就職内定率（平成24年3月末現在）は96.7%（前年同期差1.5ポイント増）となっており、就職環境は依然として厳しいものとなっています。

三重県においては、新規大学卒業者の就職内定者数（平成24年3月末現在）は1971人（前年同期差64人減）、就職内定率は92.9%（前年同期差0.2ポイント減）、新規高校卒業者の就職内定率（平成24年3月末現在）は98.6%（前年同期差0.6ポイント増）となっています。

ハローワークで新卒者の就職支援を進めています！ (別紙1)

三重労働局・ハローワークでは、将来の日本を担う新卒者が安定した仕事に就けるよう、新卒者・既卒者の就職支援を進めています。

「ジョブサポーター」の抜本的増員によるきめ細かな支援

「ジョブサポーター」を増員し、ハローワーク・新卒応援ハローワークで学校と連携したきめ細かな支援を行っています。

【就職者数】 平成22年度(平成22年9月～23年3月末) **891人** 平成23年度(平成24年3月末) **1,818人**

【主な活動】

- 新卒者・既卒者向けの求人開拓 (平成23年度(平成24年3月末まで)は **2,392人分**を開拓)
- 担当者制の個別支援(定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など)
- 学校担当者制による、出張相談・就職支援セミナーなど学校のニーズに合わせた支援
- 職業適性検査や各種ガイダンス・セミナーなどの実施



【新卒応援ハローワークで相談】



【高校生を企業に引率】

○保護者への働きかけも進めています！

労働局等から学生・生徒の保護者に、就職をあきらめないこと、中小・中堅企業にも目を向けること、新卒応援ハローワークやハローワークを積極的に活用することなどを呼びかける啓発文書を送付。**1月～3月にかけて大学・高校等を通じ実施**

○「地域若者サポートステーション」との連携によるニート等の若者の就職支援に取り組んでいます！

就労準備ができたニートなどの若者を「地域若者サポートステーション(四日市・津・伊勢・伊賀)」と連携し、ジョブサポーター等が支援。

全都道府県にワンストップで新卒者を支援する「新卒応援ハローワーク」を設置！

全都道府県に、就職活動中の学生・既卒者の皆様が利用しやすい専門のハローワークとして「新卒応援ハローワーク」を設置しました（平成22年9月24日～、平成24年4月1日現在57カ所）。
（みえ新卒応援ハローワークの実績）

【利用者数（延べ）】平成22年度（平成22年9月～23年3月末） **3,212人** 平成23年度（平成24年3月末） **7,117人**

【就職者数】平成22年度（平成22年9月～23年3月末） **532人** 平成23年度（平成24年3月末） **826人**



【新卒応援ハローワークの風景】

【主な支援メニュー】

- 全国ネットワークによる豊富な求人情報の提供・職業紹介・中小企業とのマッチング
- 就職活動に役立つ各種セミナー
- 担当者を決めての個別支援（定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など）
- 臨床心理士による心理的サポート（毎週火曜日）
- 就活クラブの開催（毎週火曜日）

津市羽所町700 アスト津3F
電話 059-229-9591 FAX059-222-3301
ご利用時間9:00～18:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

「3年以内既卒者の新卒扱い」の普及に取り組んでいます！

雇用対策法に基づく「青少年雇用機会確保指針」（※）を改正（平成22年11月15日）し、事業主が取り組むべき措置として、**学校等を卒業後少なくとも3年間は新卒として応募できるようにすることを盛り込み**、労働局・ハローワークにおいて事業主への周知を進めています。

※ 雇用対策法第7条において事業主の努力義務として「青少年の雇用機会の確保」が定められており、事業主が具体的に取り組むべき事項を定めたものが「青少年雇用機会確保指針」です。

卒業後3年以内の既卒者を採用する事業主を支援するために、平成22年9月24日にこれらの方を採用する事業主への奨励金制度（※）を創設しました。
（三重労働局の実績）

【雇用開始者数】平成22年度（平成22年9月～23年3月末） **140人** 平成23年度（平成24年3月末までの速報値） **545人**

※ 3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金・長期に育成支援が必要な3年以内の既卒者を対象にトライアル雇用を行う企業への奨励金・新卒扱いで3年以内の既卒者を採用する企業への奨励金

新卒者と中小・中堅企業とのマッチングに取り組んでいます！

新卒者が中小・中堅企業の人事担当者に直接、仕事の内容・魅力などを直接確認・応募できるように、企業説明会や就職面接会を開催しています。平成23年度は13回実施（三重労働局）。

さらに、高校生を対象に、学校推薦開始前の職場見学会や地元企業による高校内企業説明会（8回）、企業経営者などによる仕事についての講演会（キャリア探索プログラム）、職場体験受け入れ先の開拓支援などを行っています。

【左：企業説明会】【中：キャリア探索プログラム】【右：高校生の職場体験】



大卒者等支援の好事例（三重県内に就職）

事例 1

女性：22歳 大卒未就職者（法学部出身）
希望職種：一般事務

① 抱える課題

- ・ 大学は法学部を卒業。在学中は記者を希望で100社近く受けたが決まらず何がやりたいのか自分でわからなくなってしまった。
- ・ 職業選択に関して視野が狭く自分でどのように広げて良いかわからず自己流で誰にも相談したことがなかった。
- ・ 就職できるか不安で自信も無くしていた。
- ・ 初対面の人と話すことが苦手で面接で上手く話せないことが多かった。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 「就活クラブ」でのグループワークを通じて様々な人の前でも話をする練習を重ねていくことで表情が柔らかくなるとともに、自分で譲れないものが「弱い立場の人の役に立つこと」という気持ちに気付いた。
- ・ 法律関係の仕事については、法律書を読むことも苦手な意識があり敬遠していた。しかし、実際の仕事は相談業務もあり、法律関係以外のコミュニケーション力が問われることも多いということを説明指導。その結果、知的好奇心も強く、資格取得にも前向きな自分には合っていると思うようになったと本人から報告を受けた。そして、法律事務所の求人を探すようになった。
- ・ 「就活クラブ」での模擬面接の練習で他のメンバーからの評価で自信を持てた。
- ・ 「自分はどのような人間で、何を諦めなくて何に妥協できるか」に気づくことが出来、視野が広がった。

③ 結果

- ・ 法律事務所の事務職として正社員採用。 支援期間 3か月

事例 2

女性:22歳 大卒未就職者(情報工学出身)
希望職種:技術職・一般事務・営業

① 抱える課題

- ・学生時代の就職活動で一番行きかけた技術系企業を受けたが駄目だったことがショックで、技術系を諦め手当たり次第に受けようになってしまっていたがその後自信がなくなり何事も考えすぎて行動に移せなくなっていた。
- ・志望動機も自己PRも上手く言えず落ちてばかりで自信もなくなり就職活動を止めてしまい卒業した。
- ・このままでは駄目だとの焦りがつのり、何がやりたいのかわからない状態であった。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・働ければ何でもよいという状態のため、学生時代の就職活動についての振り返りを行った。
- ・その中で小さい頃から父の影響でプラモデルやミニ四駆作りなど、「もの作り」の仕事に就きたいということを思い出すにいたった。さらに大学も情報工学を選び技術職に就きたいのだったとの理由が、本人の言葉として明確になり自信に繋げることができた。
- ・「就活クラブ」で同じ年代の人とのグループワークを通じて、自分の意見を言う練習や、面接練習などを行ううちに行動することの大切さを学んでいった。常に自己PRを混ぜながら熱意をもって面接に臨むことを理解でき、しっかり自己PR出来るまでになった。
- ・これまで受け身だったが、積極的に自分から行きたい企業へアプローチし、工場見学の申込をしたり応募するようになった。

③ 結果

- ・金型を作っている会社に技術職として正社員採用。 支援期間4カ月

事例 3

女性:24歳 非正規労働者(パート;学生時代から継続)
希望職種:事務職、販売・接客業

① 抱える課題

- ・大学入学資格検定により入学した四年制大学を中退(単位不足等)後、短期大学2部を昨年9月末に卒業したが、物事に向かう確たる自信がなく将来のビジョンも曖昧で、どの職に就きたいのか決めかねている。書類を書くまで時間がかかるなど考えすぎて自分を表現できず一歩が踏み出せない。
- ・自分の価値観を自分一人で考えているばかりで行動に移せない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・本人に自信を持たせるため、これまで行ってきた販売・接客のアルバイト経験や自身の強みなど良い点を自己理解させプラス志向へと導いた。また臨床心理士にも協力してもらい意識付けを行った。
- ・自分の過去の経験を知られたくないという思いから、職務を通じて以外の個人としてコミュニケーションをとることが苦手という課題に対して、仲間としてのコミュニケーションの経験を積むため「就活クラブ」に参加をさせた。
- ・この中で具体的な取り組み面では、必要な心構え、書類の書き方、面接の手法など実践的な訓練により自己PR力を高めた。
- ・面接を通じて、自己PR等準備したことはあまり聞かれず、逆に「質問はないか?」ということは何度も聞かれ、逆質問を行う等企業研究の大切さに気付き大いに役立った。

③ 結果

- ・ベーカリーショップの販売スタッフとして採用。(当面試行的に勤務し、正社員へ移行) 支援期間 2ヶ月



卒業前最後の集中支援2012の取組状況 (別紙2)

新卒者の就職環境が依然として厳しいことを踏まえ、文部科学省、厚生労働省、経済産業省は、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、1月17日から3月末までを集中支援期間とし、「卒業前最後の集中支援2012」を実施し、同期間中に3.5万人を就職させ、未内定卒業者を前年以下とします。

三重労働局の主な取組

未内定の学生・生徒を「ひとりにしない」ジョブサポーターやキャリアカウンセラー等の連携による個別支援の徹底

【実績（1月～3月末）】

相談件数 のべ3,500件（既卒者含む）、就職者数 720人（既卒者含む）

- ※ ジョブサポーターが訪問による大学等との連携の強化。
高校から未内定者の情報提供を受け全員登録をし、就職支援を実施。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催

未内定の学生・生徒のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会

【実績（1月～3月末）】 高校生、大学生向け 4回

（開催例）

「合同企業説明会」

開催日：平成24年1月25日、2月15日、2月29日 主催：三重労働局、三重県、県内ハローワーク

参加企業数：113社 参加学生数：643人

「大学生等就職フェア2011（東海3局合同）」

開催日：平成24年2月6日、主催：三重労働局、愛知労働局、岐阜労働局

参加企業数：150社 参加学生数：907人

- ※ 就職面接会の開催スケジュールは、大卒等就職情報WEB提供サービスで検索できます。